



# コモنز30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2019年1月31日付)

基準価額	11,954円
純資産総額	591百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して  
います(後述の「コモنز30+しずぎんファンドの費用について」を  
ご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の  
増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成  
基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

## ● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモنز30ファンド (マザー)	91.3%	▲0.5%
静岡銀行株式	7.4%	▲0.2%
現金等・その他	1.4%	+0.7%
構成銘柄	31社	0社

## ● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2019年1月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
5.97%	▲5.07%	▲12.04%	▲13.64%	20.64%	19.54%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## ● 運用状況(コモنز30マザーファンドについての記載となります)

### ◎1月のファンド月間リターンとその要因

1月のマザーファンドの月間リターンは、6.18%の上昇、当ファンドの月間リターンは5.97%の上昇となりました。銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ディスコ(+25.14%)」、「東京エレクトロン(+24.93%)」、「堀場製作所(+18.71%)」となりました。ディスコは、第3四半期業績がスマホ市場の減退などにより下振れとなる旨の観測報道がありました。目先の悪材料出尽くし感が強まったことなどから株価は上昇しました。東京エレクトロンは、12月に株価が大きく下落した反動や米半導体銘柄の株価上昇などが好感されました。堀場製作所は、グローバルにおける自動車の規制強化やアジアを中心に環境規制強化が進んでおり、同社の分析機器の好調継続が期待されたことや他の半導体関連銘柄の株価上昇などが好感されました。下位3銘柄は、「資生堂(▲6.05%)」、「ユニ・チャーム(▲5.76%)」、「ヤマトHD(▲4.22%)」となりました。資生堂とユニ・チャームは、中国で2019年1月から施行された「中国電子商取引法」により、中国向け売上への悪影響が懸念されました。ヤマトホールディングスは、第3四半期累計営業利益が前年同期の2倍超に急拡大しましたが、材料出尽くしによる利益確定売りなどで株価は下落しました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は5.92%の上昇でした。

シニア・アナリスト 末山 仁

### ◎運用責任者メッセージ

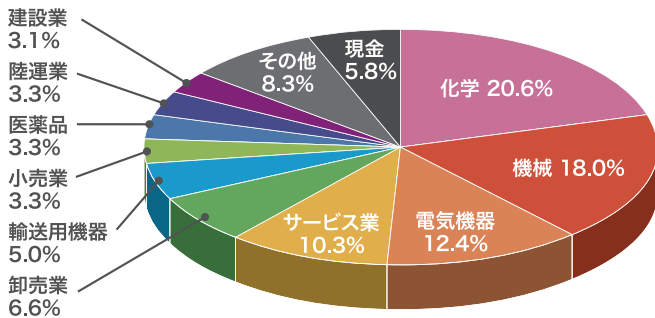
1月の内外金融市場は、昨年末の総悲観ムードから一転、反発局面となりました。米国FRB(連邦準備制度理事会)が、米国経済の先行きの不確実性が高まったとの判断から、利上げに対するスタンスを大きく軟化させたことを市場が好感しました。加えて、米中貿易問題に対する協議の進展もその流れを後押ししました。こうした環境下、国内株式市場も反発に転じました。市場センチメントも改善し、安川電機や日本電産の業績下方修正もむしろ織り込み済みとの反応となりました。景気減速や業績下方修正に対する警戒感が残る中でも相場は戻り歩調となっています。当ファンドは、市場全体の戻り以上の回復となりました。組入銘柄30社中21社の株価が月間騰落率でプラス、9社の株価がマイナスとなりました。値上がり率上位には、ディスコ、東京エレクトロン、堀場製作所とこれまでに売り込まれてきた銘柄の上昇が目立ちます。このことは、昨年秋以降の下落局面で、本質的な企業価値以上に株価が下がっていた銘柄の反発が大きいことを表しています。株価は下落していても当ファンドの投資先企業への自信は変わっていないとコメントしてきた内容に沿った結果でもあります。引き続き、不確実性の高い市場環境が続くと思いますが、本質的な企業価値への定点観測を丁寧に続けて参ります。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

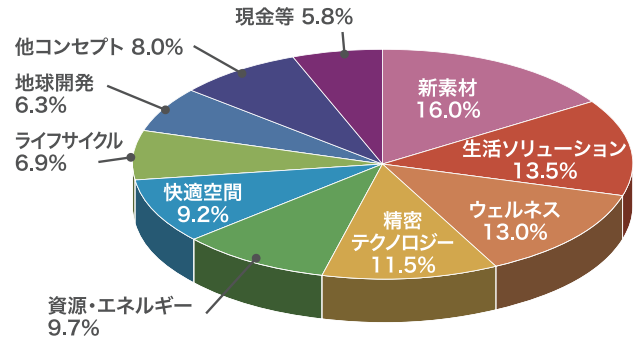
## ● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2019年1月31日付)

### ◎業種別構成比



### ◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2019年1月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.7%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.4%
3405	クラレ	新素材	真似できないアナログ化学会社	3.4%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.4%
3382	セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.3%
9783	ベネッセHD	ライフサイクル	「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す	3.3%
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.3%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。  
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピックアップ!

コマツは、社長交代の発表がありました。4月に大橋徹二社長が代表取締役会長に就任し、小川啓之専務が代表取締役社長(兼)CEOに就任します。小川氏は1961年生まれで、アメリカや国内、インドネシア勤務を経て、2016年4月から生産本部長を、昨年11月から中期経営担当を務めています。坂根正弘相談役の社長時代から続く、他社にまねできない製品やサービスを目指す「ダントツ経営」を継承していく意向です。

なお、1月はコマツの株価が16.74%上昇しました。同社の業績は、中国の景気動向に大きく影響されます。米中貿易摩擦の緩和期待などが株価の押し上げ材料となりました。足元2018年10~12月の連結営業利益は955億円、前年同期比28%増となりました。中国で伸び悩みましたが、北米や日本、インドネシアなどを中心に建設機械の売り上げが伸び、更新需要が中心の鉱山機械も順調に推移しました。

シニア・アナリスト 上野 武昭

## ● 10周年。コモンズ投信が大切にしてきたこと

コモンズ投信がファンドの運用を開始してから、10年が経ちました。10年一区切りを機に、これまでの取組みについて「10周年。コモンズ投信が大切にしてきたこと」と題して綴っていきブログにて連載でお送りしたいと思います。まず初回である今回は、全体を俯瞰してコモンズが持っている世界観「コモンズランド」についてです。

<https://park.common30.jp/2019/02/101.html>



コモンズ投信のコモンズはコモンズランド(共有地)から来ています。コモンズランドは、今日よりもよい明日を願う、願うだけでなくそのために行動している、想いを持った人たちが寄り集まる場所というイメージを持っています。そこには投資家という名の普通の生活者がいて、新しい価値を創造することをミッションとしている企業とそこで働く人たち(もちろんこの働く人たちも普通の生活者でもあります)がいます。また、生活に不便を感じながらも同じように今日よりもよい明日を願う障がいのある人や立場の弱い人も、そんな社会課題を解決しようと活動している人たちもいます。社員も、お客様も、投資先企業も、コモンズランドにいる人たちが共通して持っているコアバリューこそ、「今日よりもよい明日を願い未来を信じる力がある」ということ。そういう人たちが寄り集まっている場所がコモンズ投信です。コモンズ投信は投資信託というしくみを使って世の中をよりよくできると考えています。コモンズランドのなかで、投資家の想い(資金)をコモンズが受け取り、企業に投資する。企業と対話をしながら長期に共に歩む。企業の努力によって生み出された価値は世の中をより豊かにし、またその果実はファンドを通じて投資家に還っていく。新たに得られた果実の中から寄付をする。

コモンズが橋渡し役となって、未来を育む場所や機会を創る“インベストメントチェーン”を実現しています。10年間、その循環が滞ることなく続けられたこと、これからも長くそして大きく続くことは、皆の力を合わせてよりよい明日を切り拓いている証でもあります。相場が荒れるような時期も、未来を信じる力を持ったお仲間がどしりとファンドを支えてくださり、昨年は「受益者の97.7%の方が利益を出していて、数ある金融機関の中で一番だった」という大変うれしい調査結果が発表されました。

そのようなお仲間と歩みを進めていることこそ、コモンズ投信が持つ力、他社にまねできない圧倒的な強みだと思っています。

マーケティング部 横山 玲子

## ● ちょっといい話

### 【10周年の感謝!】

皆さまのおかげをもちまして、当ファンドの資産の約90%を占めるコモンズ30マザーファンドの運用開始から丁度10年が経過しました。10年の節目を迎えられましたこと、役職員一同、心から御礼申し上げます。

さて、10年前の2009年1月は、リーマンショック直後で株式市場もお客様の投資に対する気持ちもとても冷え込んでいました。当時、日経平均株価は8,250円程度で株式専門家の間では「日経平均株価は5,000円になる」との声が多数聞かれました。その日、私と渋澤は「凍りついた地面ではあるけど、コモンズはしっかりと長期投資の種をまくことが出来た。私たちが丁寧に手をかけていけば、きっと堅い地面から芽を出し大きく育つはずだ。」と社内にメッセージを出したことを覚えています。日本にも長期で成長する企業は一定数存在すること、そして、長寿社会では多くの方々が積み立てによる資産形成を必要とする時代がいずれ到来することを確認していました。この10年で、日経平均株価は2.5倍から3倍程度になり、コモンズ30ファンドはそれを上回る成績を出すことが出来ました。そして、2014年12月にはこのコモンズ30ファンドに静岡銀行株を加えた当「コモンズ30+しずぎんファンド」を設定することが出来ました。地方における家計の金融資産が中長期的に成長することで、地域における消費や経済活動が活発化し、その循環が地方創生にもつながるとの想いで創った商品です。

わたしたちは、『投資とは、未来を信じる力』と考えていますが、この10年は、まさにそれを実感する日々でした。東日本大震災や75円に達した超円高など、さまざまな困難や短期的な痛みもありました。しかし、振り返れば長期的な資産形成は、こうした局面を乗り越えてきました。新しく始まった10年においても、皆さまとともに未来を信じる力を育んでいきたいと考えています。新しい10年を迎えるコモンズ投信に、どうぞご期待ください。



コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井 哲朗

## ● お知らせ

### 【2019年2月1日、運用部に新メンバーを迎えました。本人からの挨拶とお仲間の皆さまへのメッセージです。】

「皆様、はじめまして。2月1日付でアナリストとして入社しました原嶋亮介です。これまで、ブリヂストン、日東電工、J-REIT資産運用会社にて、経理・財務・IRを中心に約16年のキャリアを積んで参りました。企業の側から機関投資家と接してきた経験はアナリストとして仕事をする中でも必ず生きてくると思っておりますので、自分なりの視点というものを大事にしつつ、コモンズの更なる発展の力になりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。」



アナリスト 原嶋 亮介



## ● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

<b>価格変動リスク</b>	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
<b>流動性リスク</b>	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
<b>為替変動リスクおよび カントリーリスク</b>	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

## ● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

## ● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

**03-3221-8730**

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>